

『2021 年度東北学院大学外部評価報告書』を受けて

東北学院大学は、教育・研究水準の向上及び組織の活性化等に資する評価を学外の第三者から得るために、「東北学院大学外部評価委員会規程」を定め、2010 年度から外部評価を実施してまいりました。

この規程に基づき、2019 年度から 2021 年度までを第 4 期外部評価期間とし、東北大学高度教養教育・学生支援機構教育評価分析センター長の杉本和弘教授を委員長としてスタートし、2021 年度はその最終年となる 3 年目となります。

第 4 期外部評価委員会は、文部科学省中央教育審議会において「2040 年に向けた高等教育のグランドデザイン（答申）」（2018 年 11 月 26 日）が提示されことに伴い「教学マネジメント」に係る指針の策定や学修成果の可視化に向けた動きが強まっていることから、本学における「教学マネジメント」の運用体制を外部評価の対象としております。2021 年度外部評価においては、テーマを「3 つの方針に基づく教学マネジメントの現状と課題」としました。

委員会の開催形式は 2020 年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止をしつつ、対面とオンラインを組み合わせたハイブリッド形式で開催いたしました。大学より外部評価委員へ、事前評価として学部ごとの「教学上の 3 つの方針（学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針、入学者受け入れの方針）」の内容及び定期的な点検・評価とそれに基づいた改善・向上の取り組み状況をまとめた「外部評価シート」を提示し、評価と質問をあらかじめ提出いただきました。これを取りまとめ、第 1 回外部評価委員会にて、委員による意見交換と学部への追加質問、大学からの補足説明を行いました。外部評価委員会委員の皆様からは、教学上の 3 つの方針に対する学部の取り組みへの評価を中心に、地域社会への貢献や、高大接続等に関する大学へのご期待について忌憚のないご意見を頂戴することができました。

その後、第 1 回委員会の結果を踏まえて 2021 年度の所見ならびに第 4 期を通した所見と第 5 期への引継事項を取りまとめ頂き第 2 回外部評価委員会において『2021 年度東北学院大学外部評価報告書』提出いただきました。

本報告書の作成にあたり、外部評価委員会の皆さまには多大なるご尽力をいただきました。あらためて委員の皆さまに厚く御礼申し上げます。このたび提出された『2021 年度東北学院大学外部評価報告書』は、大学ホームページ等を通じて広く学内外に公表させていただきます。

『2021 年度東北学院大学外部評価報告書』にてお示しいただいた評価及び意見を真摯に受け止め、改善が必要とされたご指摘には迅速に対応して参ります。

2022 年 4 月

学長 大西 晴樹
副学長（点検・評価担当） 中沢 正利